

第 10 回風力発電コンペ「WINCOM 2017」にて日本風力エネルギー学会特別賞を授与

2017 年 11 月 5 日（日）、日本大学生産工学部（千葉県習志野市）の主催で第 10 回風力発電コンペ「WINCOM 2017」が開催されました。当日は、高校生の部、オープン参加の部に、高校生 23 チーム、大学生・社会人 12 チームが東北・関東、広島から参加、デザイン・アイデアに富んだ手作りの小型風車で、発電量や様々な発電形態のアイデアを競い合いました。

風力発電コンペ「WINCOM」は若い方たちが物作りを経験し、その楽しさを味わうとともに、再生可能エネルギーへの理解を深める教育的な意義の高いイベントであることから、日本風力エネルギー学会からも審査員の一人として赤星理事が参加するとともに、日本風力エネルギー学会特別賞を授与しました。

今年は第 10 回の記念大会ということもあり、これまでの経験を踏まえて改良した高性能の作品が多数出展され、例年以上に熱気のこもったイベントとなりました。

今回、日本風力エネルギー学会特別賞を受賞した足利工業大学附属高等学校チーム（高校生の部）の作品“Brand New Wind2017 Type Single”は、発電機 1 つのシングルロータータイプで低風速から効率の良い発電を実現しようと試みた作品で、低風速域では全作品中トップの発電量でした。ここが学会特別賞の受賞の理由となりました。



足利工業大学附属高等学校チームの作品

当日のコンペの結果については、以下のサイトをご覧ください。

<http://www.cit.nihon-u.ac.jp/news/18162.html>